



快適な環境をクリエイトする 沖縄美装管理株式会社

Since1974

沖縄県沖縄市比屋根3-1-15

TEL 098-930-5522

FAX 098-930-5577



より深い関係性が築ける

入社前から携わること



「沖縄美装管理株式会社」は、各種施設の清掃や設備・警備などを主な業務としており、5年程前から本格的に障害者雇用を推進しています。現在は、高等特別支援学校で授業も受け持っており、ワックスかけやビルクリーニングの実技を指導しています。なかには技能を磨き、障害者技能競技大会「アピリンピック」出場を目指す方もいて、生徒の皆さんが懸命に頑張る姿を見守ってきました。授業や企業説明会を通して、入社前から障害をもった生徒さんや先生、保護者の皆さんと良い関係を築くことができていると感じます。その結果、社会に出て働く第一歩として弊社で頑張ってみようという若者がいたら、適性や体力面を考慮しながら、働く環境を整え、共に働く仲間として迎えたいと考えています。

清掃業務は単純労働だと思われがちですが、決して楽な仕事ではなく、サービスの側面ももっているのが特徴です。とくに福祉施設や病院などは、利用者の皆さんに接遇をし

働く人の声



勤続年数:1年

安慶名 権さん

当事者 Voice

「感謝」の気持ちを忘れず業務に向き合っています

現在、病院で清掃業務を行っています。月に一度は面談があり、相談しやすい環境が整っています。経験を積んだ先輩方からもアドバイスがもらえるので、日々感謝の気持ちで現場へ向かっています。学生の頃は気づきませんでしたが、一所懸命に働いた後の食事はとても美味しい！これからも前向きな気持ちで頑張りたいです。



代表取締役 副社長

武村 勝児さん

ながらの作業が必要になるため、適正な業務分担を行い、一人ひとりの能力を伸ばせるように工夫が必要です。障害をもっている方の中には、困り事があっても自分から声をあげづらい場合もあるため、現場で職務の様子を見ながら適宜声かけを行っています。

企業側が障害者雇用を取り入れるにあたって重要なことは、あまり肩肘張って構えないこと。「障害者」という壁をつくるの

仲間からのMessage

相手の特性や状態を知ることでお互いが大きく成長できます

毎日現場で仕事ぶりを見ていますが、安慶名さんは社会的で積極性もあるため、入社してまもないながら即戦力として活躍しています。体力を使う業務なので、体調面は定期的にチェックするように心がけています。障害者雇用は、社員も障害に対する理解が進むため、お互いが成長できるととても良い機会だと感じます。



主任

安里 勝次さん

ではなく、まずは「仲間」として、目の前の一人をみつめることから始めるのではないのでしょうか。また、現場責任者との関わりが重要になるので、情報を共有し、より良い関係を築くようにしています。ひたむきに業務に取り組んでくれる皆さんは、会社にとって大切な財産です。弊社では今後も積極的に雇用を推進し、障害の有無に関わらず、社員全員が「ここで働けて良かった」と思える、そんな会社でありたいと思っています。

障害者雇用を実現するために大切にしている 3つの POINT

POINT 1

体力面を考慮した業務配置

清掃業務は体力を使うため、本人に聞き取りを行い、働ける時間の見極めを行って配置をするように心がけています。

POINT 2

仕事を切り取ることで能力を引き出す

臨機応変に対応することが難しい方もいるため、業務の切り取り・割り振りを行い、能力を伸ばせる環境づくりを行っています。

POINT 3

現場での円滑なコミュニケーション

一人の力はチームの力に直結します。スタッフ同士、「報・連・相」はもちろん、日々声かけを行うことで業務の流れがスムーズに。



※撮影用にマスクを外しています。